

新小学 1 年生・中学 1 年生の保護者の皆様へ

合格は、始まりです。



1 月、2 月、3 月 就学・入学前学習が 未来を変えます。

スポーツや芸術と違って、学びの世界は
飛び級すれば、誰でも“優等生”

入学時の成績がそのまま続きます！

お子様の合格、そして御就学・入学おめでとうございます。合格が決まってほっと一息つかれていると思いますが、学校の授業の始まる 4 月から勉強するでは、余裕がある学校生活は望めません。固定された集団の中では、一度ついた序列はなかなか変わりません。入学時の成績がそのまま卒業まで続きます。憧れの学校で、上位の成績を取り余裕ある楽しい学校生活を送るためには、この 1 月～3 月の就学・入学前学習が重要です。4 月までに、新小学 1 年生なら 2 学年分を新中学 1 年生なら 1 年分を修了しましょう。1 学年以上の学力があれば私立や国立でも学校授業は簡単です。FIT のスーパー教育®で十分な準備をされて入学式を迎えられてください。



自分の意志なら、“学ぶ”は楽しい。自由闊達に学ぶ。

押し付けられ、受け身になる「勉強」と学習者が能動的に学問をする「学ぶ」では、吸収力や定着など学習効果も、自立や積極的な学ぶ姿勢など人としての成長も大きく異なります。そして、「自分で知る」は、楽しく・面白いから「毎日、学ぶ！」が実現でき学習は加速します。新しい環境は、「新しい学びの習慣」をつけるのに最適な時期です。大学受験までの学習は、すべて答えがあります。答えがある学びは、読めば必ず分かるスーパー教材があれば自分のペースでのびやかに学ぶことができます。



難関国立大学も医学部も難しい

3 歳の敏感期を活かせば圧倒的な学力を生み出す 3 学年以上を先取るスーパー飛び級®が楽々実現できます。トップ高校に入学する前に、大学受験までの学習を修了させればトップ高校で上位の成績は確実に実現できます。トップ高校で上位の成績が取れば、難関国立大学も医学部も難しくはありません。



スーパー飛び級®で、こども達とこの国の未来を切り拓く

ご質問・ご相談

飛び級特進スクール FIT ☎ 06-6995-3508

守口校・香里園校・大日校・香里ヶ丘校・くずは校

〔本部〕大阪府守口市高瀬町 1-5-14

<https://www.fit-kids.jp>

保護者の決意と行動が わが子の未来を切り拓く！

■ 難関国立大学や医学部進学は、難しくはありません。

小4が、小1の「足し算」に悩むことはありませんし、またトップ高校の1年生が中1の「正負の数の試験対策」を望むこともありません。そうです。大学受験までの答えのある学びの世界では、特別な才能や資質が要求されるスポーツや芸術の世界と違って、飛び級すれば「誰でも優等生！」になることができます。そして、その先にある難関国立大学や医学部進学も、3学年以上のスーパー飛び級で高校入学前に大学入試レベルの学習が終了していれば、進学後確実に上位の成績が取れ、実現することができます。飛び級による大学受験の優位性は、灘を始めとする私立の中高一貫校が証明しています。ただし、それは中学生からの飛び級ですから中学入試以上にハードな学習が入学後に要求されます。よって、対象は、すでに飛び級を行っているかそれともそれに耐えられる限られた子ども達になります。しかし、幼児～低学年から本格的な学びを始めるスーパー教育なら望まれるすべてのお子様に難関国立大学や医学部進学を可能とするスーパー飛び級を楽々と実現することができます。



■ 高学歴の先にある未来！？ 時代は、グローバルリーダーを求めています。



平成29年の学習指導要領の改訂による校長の裁量権の拡大や令和元年のイノベーション人材を育成するためのWWLコンソーシアムの設定、そして大学入学共通テスト、教育は大きく変わっています。その目的は、AIやIoTの普及や研究開発における国際的な遅れを取り戻し、わが国が経済大国として生き残るためのグローバルリーダーの育成です。ゆえに、これからの高学歴に求められるのは成績の良さだけではなくリーダーとしての資質や能力です。しかし、その育成は最低基準に合わせた義務教育ではできません。リーダーに必要な資質や能力の獲得のためには、学ぶ目的と学び方と学ぶ時期を正さなければいけません。

■ 思考力・判断力・表現力そして主体性をもって課題解決に向き合う姿勢

リーダーに求められる学力とは、圧倒的な知識と技術とそれを活かす思考力・判断力・表現力、そして主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度です。(H19年規定の学力の3要素から) それらの学力やリーダーとしての資質や能力は、明治5年の黒板の導入から始まった、子ども達が受け身になる“一斉教授法(教えられる・押し付けられる)”と戦後に始まった中学校までを義務教育とする“横並びのカリキュラム”による教育ではできません。リーダーとしての学力や資質や能力は、子ども達が、学びに対して能動的になる「自分の意志で自由闊達に読んで学び考える“自読考”」でなければなりません。スーパー教育のスーパー教材を用いたまったく教えない自読考なら、学力の3要素だけでなく、リーダーとして不可欠な自立心や豊かな感性や個性を育み、そして教養や品性を磨く人間教育ができます。

■ リーダー育成のための、新たな学び 自読考® と正しい指導

《 自読考®の学びと指導 》



令和のリーダーの育成を目的とするスーパー教育における指導は、これまでの「教える」ではなく、自読考の原動力となる達成感や満足感を与え増幅させるために「誉める」こと、そして、子どもが持つ内なるものを「外に引き出す」ことです。つまり、子どもの話(説明)を「聴く」ことです。子ども達は、話したがかり屋です。それは、「賢くなりたい」という本能です。聞く側にいるよりも話をする方が、相手に分かって貰うために頭を使います。よって、完璧な理解ができます。それに、話をする事で、文科省が求める思考力や判断力や表現力が育まれ、また自らの発言により課題解決に主体性をもって挑む姿勢が身につきます。教え方が上手な(分かり易く噛み砕いてくれる)先生は、リーダーを育てる教育には必要ありません。子ども達は、実社会に出れば、答えのない問題に取り組まなければいけません。大学受験までの答えがある、つまり解き方が分かった学びぐらゐは、リーダーを目指すのであれば、たくましく生きるためには人に教えられないのではなく自分で習得できるようでなければいけません。

■ わが子の未来は、偶然や他人には任せない！ 学びを介した「新たな親子の絆」を育む。

「学力」を「個性」として活かす。そして、すくすくと元気に、その世界で大きく羽ばたく！
令和という新しい時代に生きる子ども達には、失敗を恐れず躓いてもそれを糧とし逞しく自分の道を切り拓いて欲しいと思います。ちゃんと読めば必ず分かるスーパー教材を用いた自読考の指導は、「誉める」と「聴く」です。子どもの未来を真摯に考え、成長を心の底から喜べる最高・最強の「学び」の先生は、保護者です。知識をもって子どもの前に立つのではなく、リーダーを育てる教育に求められるのは、子どもの能力を信じて寄り添うです。わが子の未来は、偶然や他人には任せずに、学びを介した「新たな親子の絆」を築かれてみませんか。
飛び級特進スクールFITが、全力でサポートさせていただきます。

